

書名：人を動かす

著者：D・カーネギー

訳者：山口博

出版社：創元社

出版年月：1999年10月

総ページ数：346ページ

ISBN：9784422100517



推薦者

浜崎隆司

鳴門教育大学大学院教授

幼年発達支援コース

著者は、心理学者ではないのですが、人を動かす方法についての秘訣を述べています。そこには、人に自ら動きたくなる気持を起こさせることが書いてあります。相手が何を欲しがっているのかを察して、それに応じた言葉や態度を示すことで、人は他人のために動くというのです。相手がお金をほしがっているのか、愛をほしがっているのか見抜くことが大切だと述べています。

人に好かれる6原則として、「誠実な関心を寄せる」「笑顔で接する」「名前は、当人にとって、最も快い、最も大切な響きを持つ言葉であることを忘れない」「聞き手にまわる」「相手の関心を見抜いて話題にする」「重要感を与える」「誠意を込めて」を挙げています。例えば、野菜が嫌いな子どもに、自分の憧れの野球選手のようにするためには、野菜を食べることが必要であるというように、相手側（子ども側）の心を動かすことで、自ら野菜を好きになる方法が示されています。これは、教育者として子どもとかかわる時のヒントになるかもしれません。さらに、人を変える9つの原則を挙げています。「まずほめる」「遠まわしに注意を与える」「まず自分の誤りを話した後、相手に注意を与える」「命令をせず、意見を求める」「顔を立てる」「わずかなことでも、すべて、惜しみなく、心からほめる」「期待をかける」「激励して、能力に自信を持たせる」「喜んで協力させる」です。子どもの豊かな心の成長を促す大切な原則でもありますね。

この本には、もう一つ大切な役割があります。それは、生きるのに悲しくなった時、辛くなった時、希望がなくなった時、そのような人にとって心のバイブルとなります。辛いのは自分だけじゃないということが心にしみてきて、辛いけれども自分が今やらなければならないことが見えてきます。生きていくのにちょっとだけ勇気が出てきます。失恋した時にもお勧めです。

